参考資料１

ヒト胚についての検討の全体像

平成９年９月
科学技術会議生命倫理委員会

平成１１年１２月
クローン技術によるヒト個体の産生等について
・クローン技術によるヒト個体の産生等は法律により罰則を伴う禁止
・研究についてはヒト胚研究の議論の場で検討
（クローン小委員会）

平成１２年３月
ヒト胚性幹細胞を中心としたヒト胚研究について
・人クローン胚等の規制は法律に位置づけ整備
・ＥＳ細胞については指針として整備
・クローン胚、ＥＳ細胞を使用した研究の規制に関する考え方
（ヒト胚小委員会）

国　会　審　議

平成１２年１１月
クローン技術規制法
・クローン胚等の胎内への移植を禁止
・特定胚の取扱指針の策定
・ヒト受精胚の取扱いの検討　等
附帯決議
・特定胚指針の要件
・ＥＳ細胞の取扱いの考え方　等

平成１３年１月
総合科学技術会議　生命倫理専門調査会

ヒ　ト　胚　の　取　扱　い

平成１３年８月より約３年間にわたって審議

平成１６年７月
意見具申
「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」

ヒト受精胚の取扱い関するガイドラインの策定
（文部科学省、厚生労働省）

特　定　胚　指　針

平成１３年８月
文部科学省が総合科学技術会議に諮問、１１月に答申、１２月に文部科学省が告示

特定胚指針の改正
（文部科学省）
必要に応じて新たなガイドラインの策定
（文部科学省、厚生労働省）

ＥＳ　細　胞　指　針

平成１３年４月
文部科学省が総合科学技術会議に諮問、８月に答申、９月に文部科学省が告示

ＥＳ細胞指針の改正
①平成18年11月に総合科学技術会議に諮問、19年3月に答申、19年5月に改訂
（文部科学省）